

2020年度 入学者受入れの方針に照らした大学入学者選抜の取組の適切性に関する検証（AP）

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの志ふり返り（学科／研究科専攻の入学者受入れの方針）」のデータを活用した検証です。

各学科・研究科専攻の学位授与の方針については、本学ホームページの「教育方針」（下記の URL）をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

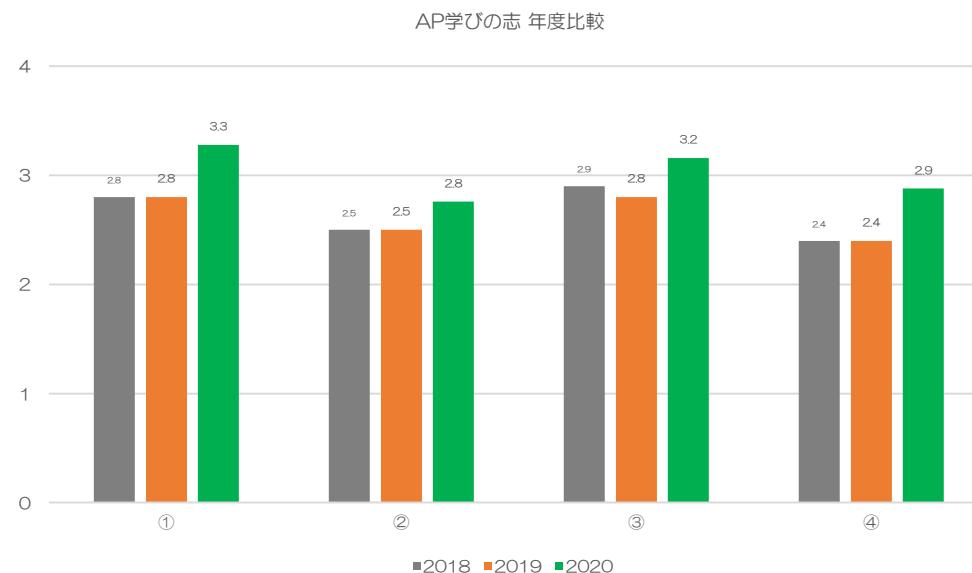
学科・研究科専攻名 社会福祉学科

アドミッション・ポリシーに基づき「学びの志ふり返り」として以下に示す4項目について5段階ルーブリック評価検証を行った。

回答者（1年生）25（回答率6%）で、昨年度の169（回答率39%）、一昨年の242（51%）から大幅に減少している。

以下に示す結果（図）は、各項目5段階（1～5点）の年次比較を示している。

- ① 私は、人間や社会に対する関心と探求心に富む人である
- ② 私は、社会に貢献する意欲を持っている人である
- ③ 私は他者とともに考え、ともに活動することに喜びを見いだしている
- ④ 私は、社会福祉の理論（知識）と実践を融合させ、社会福祉学について深めている



年度比較は、前年度平均値と比較し低いもしくは変化なしの場合は、課題と言える

【考察】

2020年度は、コロナ禍においてオンラインを中心とした講義・演習となっていた。そのため、例年1年生のリエゾン1の演習内で自己評価の入力を行うことが多かったが、今回は学生への周知、理解が十分に図れなかつたと思われる。そのため、回答者が例年よりも大きく減少している。このことが、結果に大きく影響を与えている可能性は十分に考慮する必要がある。

上記の限界があるものの、過去3年間の回答と比べるといずれの項目も例年よりも点数が高く、中間点の2.5を超え3点前後にあるため、入学者選抜の取り組みは適切に行われていると思われる。